

DATA

Panasonic Homes

パナソニック ホームズ グループ
環境パフォーマンスデータ 2020

地球温暖化防止に関する環境パフォーマンス

自己評価基準



2019年度 目標を達成しました。



2019年度 目標未達でしたが、前年度より改善しました



2019年度 目標未達および前年度より悪化。

目的

部門

地球温暖化防止

生産

部材生産、研究・開発
製品試験、倉庫、事務所

INPUT
合計 414,442 GJ

総発熱量 171,576GJ

エネルギー

電力	13,576.604 kWh
A重油	182,670 L
LPG	7,902 kg
LNG	434,640 kg
灯油	16,400 L
軽油	144,803 L
バイオ軽油	2,753 L
揮発油(ガソリン)	83 L

総発熱量 112,010 GJ

エネルギー

軽油	2,683,888 L
重油(内航)	142,220 L
軽油(廃棄物物流)	431,473 L

物流

材料調達、販売・返品
廃棄物物流の荷主として

民生

事務所、展示場、倉庫
賃貸拠点

総発熱量 83,878 GJ

エネルギー

電力	8,550.675 kWh
LPG	7,194 m³
都市ガス	12,110 m³
温水・冷水	8,217,817 MJ

※2020年度から自社拠点のみに変更

総発熱量 35,979 GJ

エネルギー

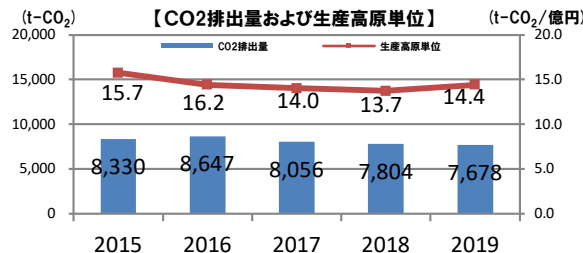
電力	856,940 kWh
軽油	727,716 L

施工

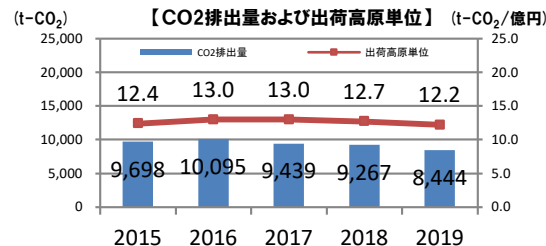
OUTPUT

合計 21,856 t-CO₂

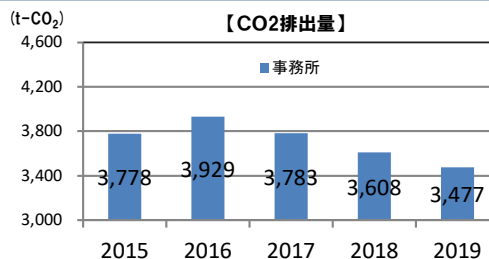
CO₂排出量 7,678 t-CO₂



CO₂排出量 8,444 t-CO₂



CO₂排出量 3,477 t-CO₂



2019年度
実績/目標

自己評価

CO₂排出量
生産高原単位

14.4
/15.2
t-CO₂/億円



CO₂排出量
出荷高原単位

12.2
/12.8
t-CO₂/億円



5年度間
平均原単位
(CO₂/延床面積)

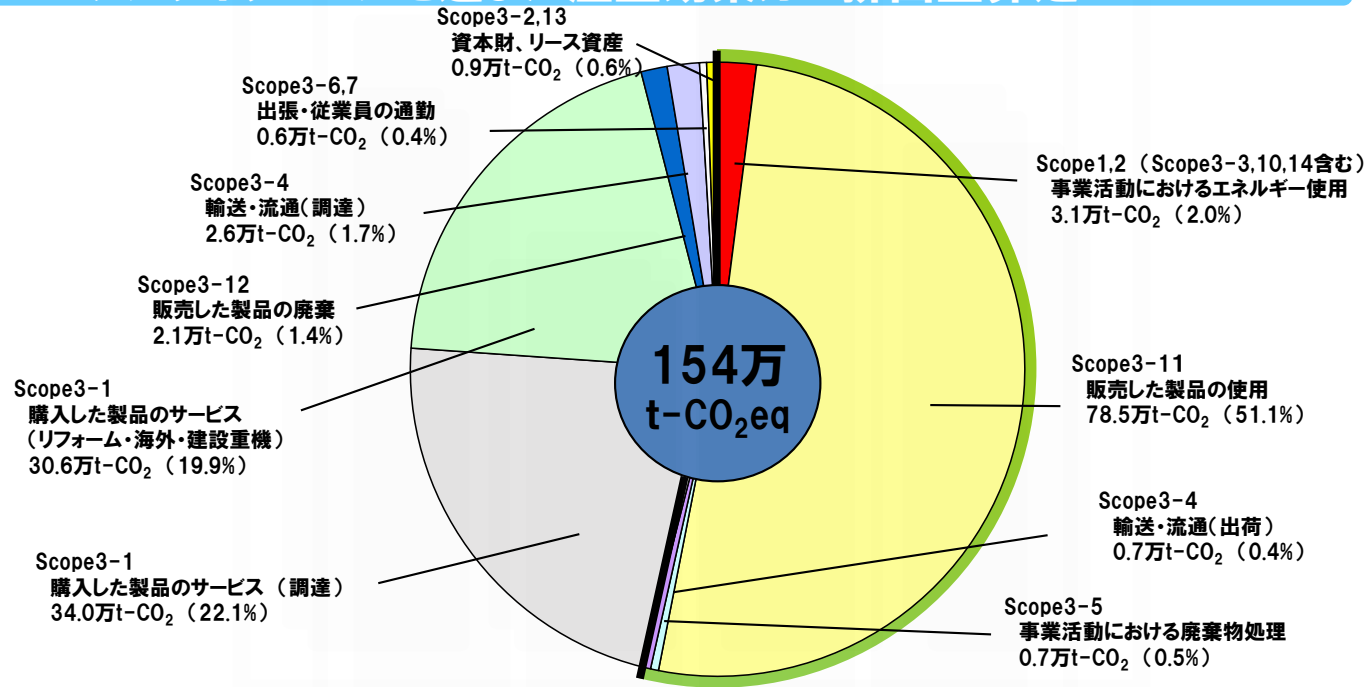
98.5%
/99%



サンプルデータによる
推定の為
目標設定値なし

データの算出について

共通 : CO₂排出量 = 各エネルギー消費量 × CO₂排出量原単位(電力は固定値0.41t-CO₂/kWhを使用)、その他エネルギーは環境省「温室効果ガス排出量算定方法」による)
 生産 : 自社工場の実績データ 物流 : 荷主実績データ(燃費法およびトンキロ法による算出) 民生 : 自社およびパナソニック ホームズ協業会社の実績データ(賃貸拠点の按分データ含む)
 施工 : サンプルデータ(建機の稼働時間・燃費・台数)と供給実績からの換算



カテゴリ	活動量
Scope1 直接排出	工場における生産エネルギー、事務所エネルギー（灯油・都市ガス等）、社用車エネルギー
Scope2 エネルギー起源間接排出	工場における生産エネルギー、建設現場における工事エネルギー(※1)、事務所エネルギー
Scope3 カテゴリ1 購入した製品・サービス	原材料・資材の調達量(金額及び物量ベース)、建設現場における工事エネルギー(※1)、解体工事におけるエネルギー(※2)、リフォーム工事、外構工事、海外事業(マンション等)等
Scope3 カテゴリ2 資本財	資本財の金額
Scope3 カテゴリ3 Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	電気・蒸気エネルギー使用量
Scope3 カテゴリ4 輸送、配送(上流)	荷主分の輸送に係る輸送トンキロ、サプライヤー輸送による輸送トンキロ
Scope3 カテゴリ5 事業から出る廃棄物	<処理>廃棄物種類別排出量、<輸送>資材量×平均輸送距離
Scope3 カテゴリ6 出張	交通費支給額
Scope3 カテゴリ7 雇用者の通勤	通勤交通費支給額
Scope3 カテゴリ8 リース資産(上流)	Scope1,2で算定
Scope3 カテゴリ10 販売した製品の加工	建設工事における電気の使用量(持分法適用会社及び代理店の新築工事)(※1)
Scope3 カテゴリ11 販売した製品の使用	販売棟数×年間消費電力量×使用年数(60年)
Scope3 カテゴリ12 販売した製品の廃棄	販売棟数×資源使用量(キープラン)
Scope3 カテゴリ13 リース資産(下流)	カテゴリ11に含む。賃貸している床面積
Scope3 カテゴリ14 フランチャイズ	持分法適用会社におけるScope1,2(事務所・社用車エネルギー)

※1: 工事エネルギーについては、プレハブ建築協会の環境行動計画「エコアクション2020」の建設現場のCO₂算出基準に基づきエネルギー使用量算出
 ※2: 解体工事におけるエネルギーについては、平成21年度住宅・建築関連先端技術開発助成事業における「建築解体工事に伴う建設廃棄物量、解体工事費、再資源化、適正処理費用及び二酸化炭素排出量の概算システムに関する技術開発報告書」に基づき算定。

自己評価基準



2019年度 目標を達成しました。



2019年度 目標未達でしたが、前年度より改善しました



2019年度 目標未達および前年度より悪化。

目的

部門

OUTPUT

2019年度
実績/目標

自己評価

省資源

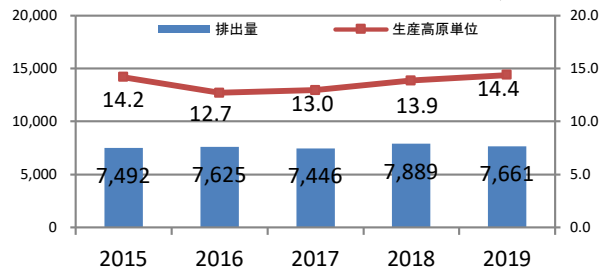
生産

部品生産、研究・開発
製品試験、倉庫、事務所

廃棄物・有価物量 7,683t

発生区分	発生量
木くず	3,097t
金属くず	2,351t
ガラス陶磁器くず	1,418t
廃プラスチック	393t
混合廃棄物	256t
紙くず	103t
汚泥、廃油・廃酸	66t
合計	7,683t

【廃棄物・有価物量および生産高原単位】(t/億円)



生産高
原単位

14.4
/15.1
t/億円



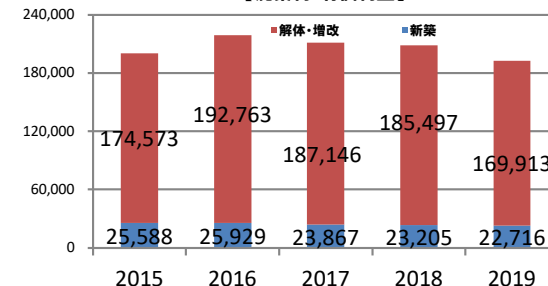
施工

新築・解体・リフォーム

廃棄物・有価物量 192,629t

発生区分	発生量
新築産業廃棄物	22,716t
解体・増改産業廃棄物	169,913t
合計	192,629t

【廃棄物・有価物量】



新築施工現場
延床面積当り
(2020/3)

20.64
/15.00
kg/m²



生物多様性保全に関する環境パフォーマンス

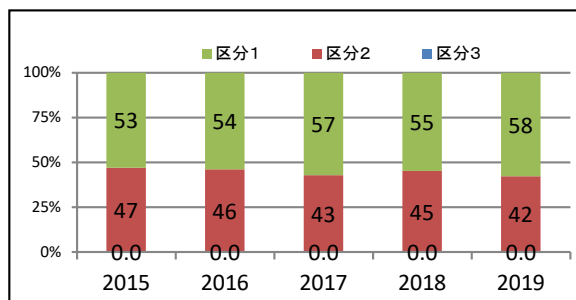
グリーン調達

生産・施工

木材グリーン調達実績

区分	内容	割合
区分1	適切に管理された森林から算出された木材・木質材料	58%
	木質系再生資源	
区分2	伐採時の合法性が確認された木材・木質材料	42%
	業界団体等によって合法性の認定が得られている木材・木質材料	
区分3	伐採時の合法性が確認できない木材・木質材料	0%

【木材グリーン調達区分比率】



区分C

ゼロ化
/ゼロ化



データの算出について

廃棄物・有価物発生量については、自社工場の実績データ 及び自社・パナソニック ホームズ協業会社の建設段階における実績データ
木材グリーン調達: 自社・パナソニック ホームズ 協業会社の木材調達実績データ